

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



花まつりのとき、
どうしてお釈迦さまに
甘茶をかけるの？

花まつりは、^{かんぶつえ}灌仏会ともいって、お釈迦さまがお生まれになった日をお祝いする、仏教ではとても大切な行事です。おかあさまのマーヤーさまが、色とりどりのお花がいっぱい咲いているルンビニーの花園でお休みになった時にお生まれになったのが、お釈迦さまです。お釈迦さまは、生まれてすぐに7歩お歩きになり、^{てんじょうてんげゆいがどくそん}右上と左下を指さして、「天上天下唯我独尊（天にも地にも我一人）」と言われたそうです。そのとき、お誕生をお祝いして天から九頭の龍が甘露を降らせて、産湯をつかわせたという言い伝えがあります。つまり甘茶は、龍が注いだ甘露の代わりということですね。4月8日は、そういう言い伝えのあるお釈迦さまのお誕生日です。花御堂の真ん中に立っておられるお釈迦さまに甘茶をかけて、お祝いいたしましょう。